

各関係機関長 殿  
病害虫防除員

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
病害虫防除所長  
(公印省略)

平成25年度農作物病害虫発生予察情報について

平成25年度農作物病害虫発生予報第8号を発表したので送付します。

平成25年度農作物病害虫発生予報第8号

平成25年9月2日  
徳島県

I. 普通作物  
普通期イネ

トビイロウンカ (9月2日付けで注意報発令中)

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い)、発生程度は「多」

2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が76.0%、株当たり寄生虫数が0.72頭であり、平年(1.8%、0.00頭)に比べて高めの発生である。特に、西部地域では発生圃場率が80.0%、株当たり寄生虫数が1.64頭であり、平年(3.8%、0.01頭)に比べて高めの発生である。また、短翅型雌成虫も認められた。
- (2) 石井町の予察灯においては、8月3半旬と8月5半旬に誘殺が認められた。
- (3) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

コブノメイガ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや多く)で、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が32.0%、被害葉率が1.1%であり、平年(29.4% 0.8%)並の発生である。西部地域では、発生圃場率が50.0%、被害葉率が1.3%であり、ほぼ平年(44.3%、0.96%)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

II. 果樹  
カキ

うどんこ病

1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で、発生程度は「少～中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が80.0%、発病葉率が15.1%であり、ほぼ平年(73.0%、8.6%)並の発生である。

- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

#### 炭そ病

##### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

##### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が7.0%、発病果率が0.1%)。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

#### 果樹共通

果樹カメムシ類(ツヤアオカメムシ, チャバネアオカメムシ等)

##### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で、発生程度は「中」

##### 2) 予報の根拠

- (1) 8月上旬～中旬におけるツヤアオカメムシの予察灯への誘殺数は勝浦町では平年よりやや多め、上板町では平年並に、チャバネアオカメムシは両町とも平年並に推移している。

[ツヤアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝 浦 町					上 板 町				
	2013年	2012年	2011年	2010年	平 年	2013年	2012年	2011年	2010年	平 年
8.1	99	127	9	29	59	4	1	0	14	5
8.2	195	280	9	12	100	12	6	2	8	6
8.3	212	429	10	26	113	16	6	0	9	4
8.4	173	289	9	56	83	7	11	0	14	13
8.5	158	219	13	19	56	7	4	2	1	3
8.6		75	15	18	71		2	10	22	10

[チャバネアオカメムシの誘殺数]

月半旬	勝 浦 町					上 板 町				
	2013年	2012年	2011年	2010年	平 年	2013年	2012年	2011年	2010年	平 年
8.1	12	77	7	84	73	8	94	2	33	33
8.2	66	71	4	27	84	27	21	1	12	22
8.3	99	71	27	57	124	52	10	8	18	16
8.4	132	208	20	220	130	16	8	9	23	16
8.5	137	233	20	89	74	20	16	21	7	17
8.6		170	21	45	120		4	24	27	17

- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

##### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので、園内を巡回し飛来に注意するとともに、飛来を認めたら早急に防除を行なう。
- (2) 果樹カメムシ類は夜行性なので、薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。
- (3) 移動性が大きいので、広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

#### Ⅲ. 野菜

##### 夏秋ナス

## うどんこ病

### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で、発生程度は「少～中」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が62.5%、発病葉率は9.4%であり、平年(57.6%、8.1%)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生抑制的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。

## アザミウマ類

### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少～中」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が87.7%で平年(46.5%)に比べてやや高めであるが、寄生葉率が4.5%であり、平年(4.0%)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。

## アブラムシ類

### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が12.5%、寄生新梢率は0.1%であり、平年(9.9%、0.6%)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、やや発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。アブラムシ類は葉裏や芯芽に寄生しているの  
で、防除の際には、葉裏に十分な量の薬液がかかるよう丁寧に散布する。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

## ハダニ類

### 1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年よりやや少ない)、発生程度は「少」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では、発生圃場率が12.5%、寄生葉率が0.5%であり、平年(45.2%、4.7%)に比べてやや低めの発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では、平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並または少ないと予想されており、発生に中間的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。ハダニ類はほとんど葉裏に寄生しているので、  
防除の際には、葉裏に十分な量の薬液がかかるよう丁寧に散布する。
- (2) 同一系統薬剤の連用は薬剤抵抗性獲得の恐れがあるので避ける。

## 秋冬ネギ

シロイチモジヨトウ

### 1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや多い), 発生程度は「少～中」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では, 発生圃場率が55.6%であり, 平年(31.1%)に比べて高めの発生であるが, 50株当たり虫数は0.9頭であり, 平年(3.5頭)に比べて低めの発生である。
- (2) 8月のフェロモントラップへの誘殺虫数(調査7圃場の平均)は平年より多めに推移している。
- (3) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少なく見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 次世代の発生を抑制するためにも, 被害を受けた植物残渣は圃場に放置せず, 確実に処分する。
- (2) 幼虫の齢期が進んだり, 食害して葉の内部に潜むようになると, 薬剤による防除効果が著しく低下するので, 早期発見に努め, 若齢幼虫期に防除を行なう。
- (3) ネギの集団栽培地帯においては, フェロモン剤による防除が効果的であるので, 適切に使用する。
- (4) フェロモン剤による交信攪乱効果は設置後3ヶ月程度で低下してくるので, 早めに交換する。

## ネギアザミウマ

### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年よりやや少ない)で, 発生程度は「少」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では, 発生圃場率が22.2%, 葉の被害度が0.2であり, 平年(17.8%, 0.3)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少なく見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。

## ネギハモグリバエ

### 1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で, 発生程度は「多」

### 2) 予報の根拠

- (1) 8月後半の巡回調査では, 発生圃場率が100%, 葉の被害度が15.3であり, ほぼ平年(97.6%, 25.1)並の発生である。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少なく見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。
- (2) 被害葉は発生源となるので, 絶対に圃場周辺に野積み・放置せず, 速やかに処分する。

## 野菜共通

### ハスモンヨトウ

#### 1) 予報内容

発生量 平年よりやや多く(前年よりやや多い), 発生程度は「中」

#### 2) 予報の根拠

- (1) 8月のフェロモントラップへの誘殺虫数(調査5圃場の平均)は平年よりやや多めに推移している。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少なく見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

#### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が著しく低下するので, 早期発見に努め, 若齢幼虫期に防除を行なう。

### シロイチモジヨトウ

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い), 発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月のフェロモントラップへの誘殺虫数(調査7圃場の平均)は平年より多めに推移している。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫の齢期が進むと薬剤の効果が著しく低下するので, 早期発見に努め, 若齢幼虫期に防除を行なう。

オオタバコガ

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年よりやや多い), 発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 8月のフェロモントラップへの誘殺虫数(調査5圃場の平均)は平年より多めに推移している。
- (2) 8月29日発表の1ヶ月予報では, 平年に比べ晴れの日が少ないと見込まれている。気温は平年より高く, 降水量は平年より多く, 日照時間は平年並または少ないと予想されており, やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

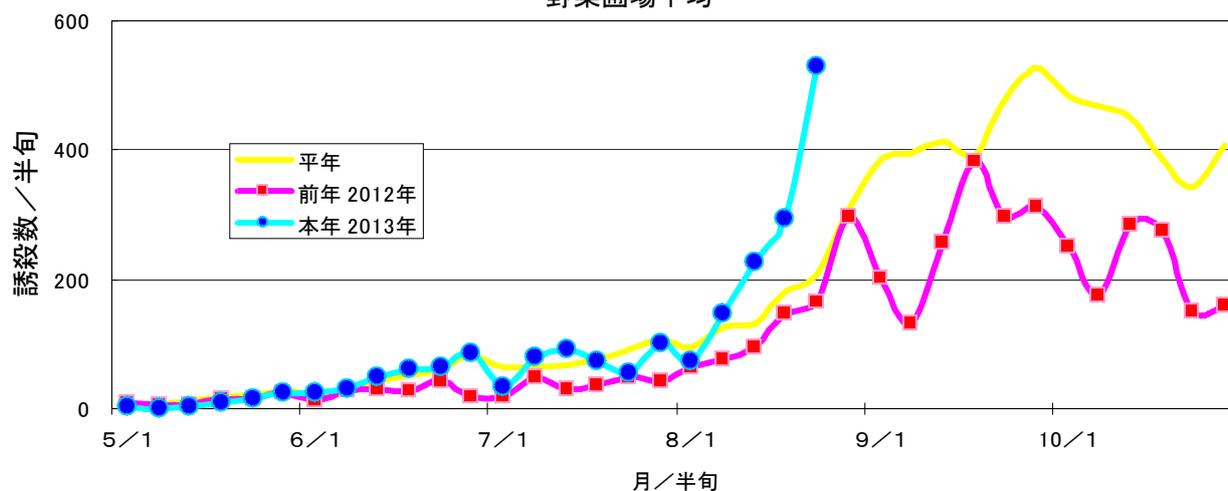
- (1) 幼虫が果実等に食入すると薬剤の効果が著しく低下するので, 使用基準に基づき定期的な薬剤防除を行なう。

[フェロモントラップへの誘殺虫数]

(調査圃場の平均値)

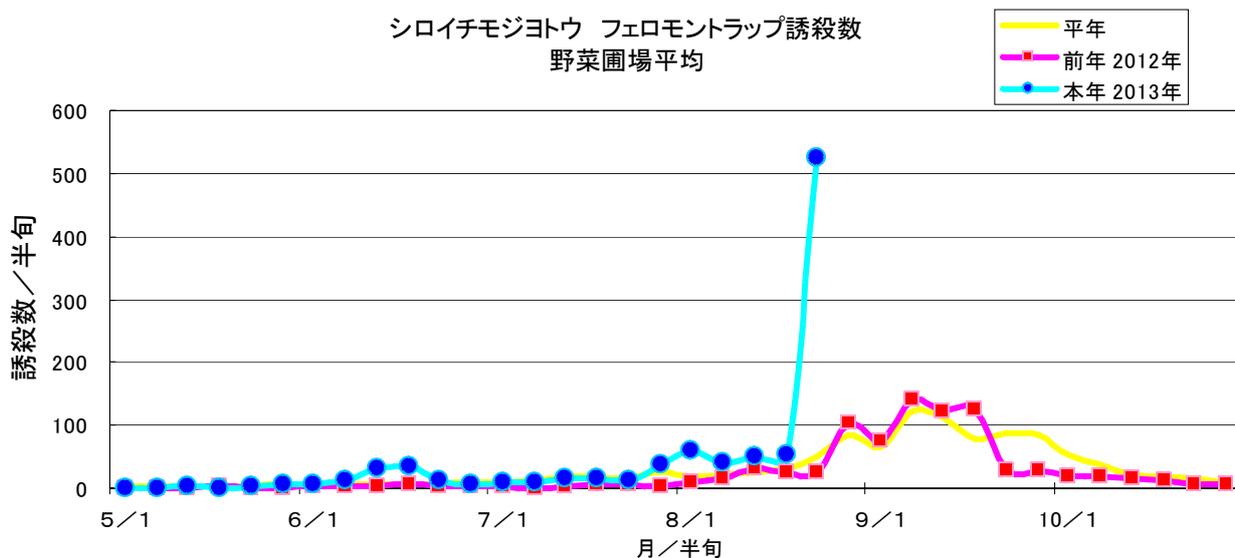
月半旬	ハスモンヨトウ					シロイチモジヨトウ				
	2013年	2012年	2011年	2010年	平年	2013年	2012年	2011年	2010年	平年
8.1	73	65	123	95	107	59	9	27	19	18
8.2	146	77	131	123	139	42	16	19	46	25
8.3	227	96	126	176	150	51	31	18	59	27
8.4	294	148	172	175	214	54	25	51	62	42
8.5	529	166	162	226	251	526	26	109	74	70
8.6		296	160	315	342		104	154	93	88

ハスモンヨトウ フェロモントラップ誘殺数  
野菜圃場平均



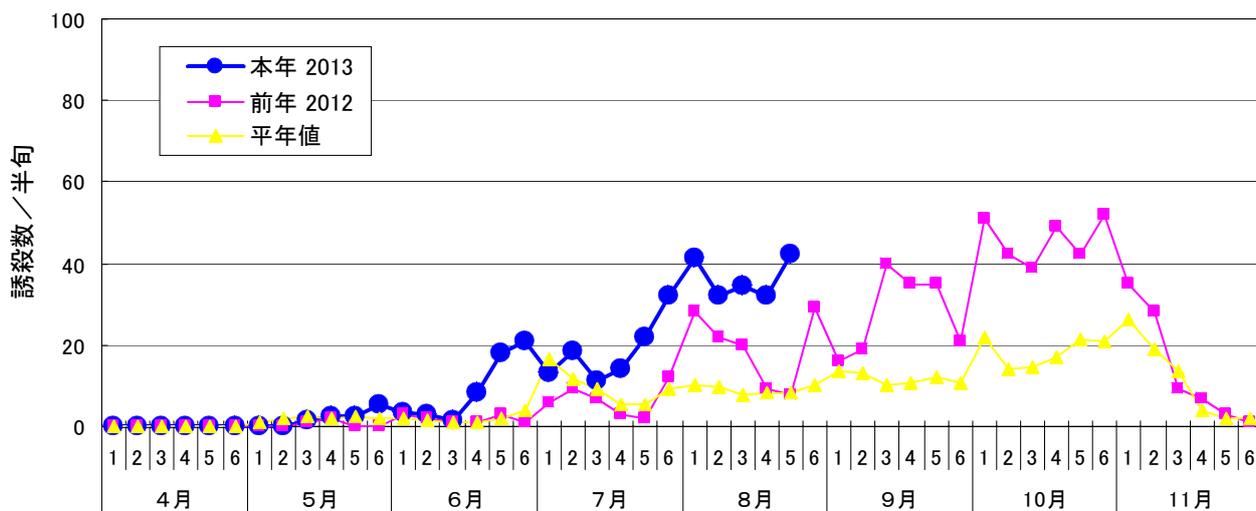
調査圃場：徳島市(川内, 不動), 石井町, 阿波市(柿原), 東みよし町(三加茂)

シロイチモジヨトウ フェロモントラップ誘殺数  
野菜圃場平均



調査圃場：徳島市(川内, 不動), 石井町, 阿波市(柿原, 香美), 吉野川市(鴨島), 東みよし町(三加茂)

オオタバコガ フェロモントラップ誘殺数  
全調査圃場平均



調査圃場：石井町, 阿波市(柿原, 香美), 吉野川市(鴨島), 東みよし町(三加茂)

#### IV. その他

- 1) 防除にあたっては、圃場をよく観察し、適期を逃さないようにして下さい。
- 2) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し、周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。

#### 発生量の表示

発生程度：甚>多>中>少>無

発生量：多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所  
U R L : <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/boujyosyo/>

○病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除法等をお知らせしています。